

燃料電池・FCH部会 公開シンポジウム  
『燃料電池の市場投入に向けて一期待、課題、挑戦』 開催のご案内

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、一般財団法人大阪科学技術センター 燃料電池・FCH部会では、下記の通り、公開シンポジウムを開催させていただき運びとなりました。

今回は、「燃料電池の市場投入に向けて一期待、課題、挑戦」をテーマに実施します。本年度中には燃料電池自動車の市場投入が予定され、水素社会への期待が高まっています。本シンポジウムでは関係する各機関より講師をお招きして、最新の動向についてご講演頂きます。燃料電池をめぐる、どのような取り組みや動きがなされているのかを知る、またとない機会かと存じますので、ぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時： 平成26年12月11日(木) 13:30~17:15(シンポジウム)、17:30~(交流会)
2. 場 所： 大阪科学技術センター 4階401会議室
3. 定 員： 120名
4. プログラム：
  - (1) 13:35-14:15  
講演『サステイナブル社会に向けたトヨタの燃料電池車 FCV の開発と今後』  
トヨタ自動車(株) 技術統括部 主査 広瀬雄彦氏
  - (2) 14:15-14:55  
講演『日野における燃料電池バス開発の現状』  
日野自動車(株) 製品開発部 兼 技術管理部 兼 技術研究所 参事 鈴木滋氏
  - (3) 15:10-15:50  
講演『大阪ガスの水素ステーション及びコンパクト水素製造装置に関する取り組み』  
大阪ガス(株) エンジニアリング部 環境ソリューションチーム 副課長 池田耕一郎氏
  - (4) 15:50-16:30  
講演『燃料電池を利用した非常用電源機能付簡易型水素ステーションの開発』  
ヤマト・H2Energy Japan(株) 代表取締役 平瀬育生氏
  - (5) 16:50-17:10  
総合質疑 進行:江口 浩一 氏(京都大学教授・燃料電池・FCH部会 代表)  
稲葉 稔 氏(同志社大学教授・燃料電池・FCH部会 代表)
- [交流会] 17:30~ 大阪科学技術センター 1階会議室
5. 主 催： (一財)大阪科学技術センター 燃料電池・FCH部会
6. 協 賛(予定):
  - (一社)エネルギー・資源学会、(公社)化学工学会 関西支部、(公社)化学工学会 エネルギー一部会
  - (一社)近畿化学協会、(公社)電気化学会 関西支部、(公社)電気化学会 電池技術委員会
  - (一社)日本電機工業会、燃料電池開発情報センター、燃料電池実用化推進協議会
7. 参加費：
  - シンポジウム参加費：
    - ・OSTEC 賛助会員および研究会等会員、協賛団体会員:(企業)10,000 円、(大学・公的研究機関)5,000 円
    - ・その他一般参加:15,000 円
    - ・燃料電池・FCH部会 会員・会員企業:無料
  - 交流会参加費: 3,000 円(燃料電池・FCH部会 会員・会員企業:無料)

8. 申込み方法

**12月5日(金)迄に、必要事項(会社・機関名、所属・役職名、貴名、会員資格、交流会出欠、御連絡先)と共に、E-mail、もしくは下記FAX用紙にご記入の上お申込み下さい。**

**※E-mailの宛先 yoshioka@ostec.or.jp(吉岡行)**

9. お問い合わせ先

(一財)大阪科学技術センター 技術振興部 増山 (吉岡)

E-mail: [masuyama@ostec.or.jp](mailto:masuyama@ostec.or.jp) TEL:06-6443-5320 FAX:06-6443-5319

◆大阪科学技術センター(〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4)



(一財)大阪科学技術センター 技術振興部  
燃料電池・FCH部会 事務局 吉岡行  
FAX:06-6443-5319 または E-mail:[yoshioka@ostec.or.jp](mailto:yoshioka@ostec.or.jp)

**締切日:12月5日(金)**

燃料電池・FCH部会

公開シンポジウム「燃料電池の市場投入に向けて一期待、課題、挑戦」

参加申込書

交流会	参加 ・ 不参加		該当する区分に○印を記入下さい。
フリガナ		会員資格	1. 燃料電池・FCH部会会員、会員企業( ) 2. OSTEC賛助会員または研究会等会員( ) 3. 協賛団体会員( ) 4. その他一般参加( )
氏名		研究会等名 協賛機関名	上記区分2・3を選んだ方はご記入下さい。
会社・機関名			
所属・役職名			
ご連絡先	TEL:		
	E-mail:		